

平和をまもり真実をつらぬく民主教育の確立をめざしてー

2025年

合同教育研究 全道集会

11/1
(土)

全体講演 13:00～15:45

テーマ別交流会

第1部 16:00～17:30

第2部 17:30～19:00

会 場

北海学園大学

5号館 6階60番教室

11/2
(日)

ハイブリッド分科会

札幌市内会場 & オンライン

11/8・9
(土・日)

オンライン分科会

全体講演

「どうして戦争しちゃいけないの？」
～戦後80年ー戦争が続く世界に生きる私たち～

講師

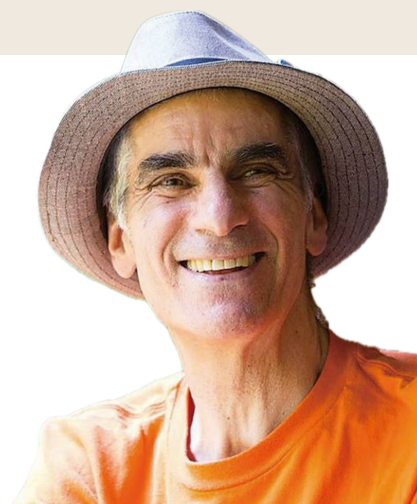
ダニー・ネフセタイさん

(イスラエル出身、埼玉県在住、家具作家)

《ダニーさんからのメッセージ》

私は1957年イスラエルに生まれ、イスラエルの教育を受け、徴兵制により軍隊に入隊しました。何の疑問もなく。

リベラル家庭に育ったのですが、軍隊はむしろ必要不可欠だという国は普遍なものです。1980年初頭日本に住み始め、憲法9条を知り、国防の意識の差に驚きました。数々のガザ攻撃がありましたが、徐々に頭と心がモヤモヤし始めて、2008年のガザ爆撃でパレスチナの子ども345人が殺されたことで遂に自分が所属していたイスラエル空軍の残虐性を許せなくなりました。国防のために隣人の子どもまで大量虐殺する事の罪はなんとしても許容できないのです。それ以来私は発信を続けています。イスラエル国内の家族や友人、SNSではこういった感覚は理解してもらえません。イスラエルの外から、外圧として「冷静になれ、それは虐殺だよ」と指摘し続けなければならないと思っています。



トークセッション

ゲスト

- ◇パレスチナに涙を。さっぽろ 成瀬 真己杜さん
- ◇朱鞠内／笹の墓標強制労働博物館 館長 矢嶋 幸さん
- ◇矢臼別／旧川瀬牧場住人 寺川 真幸さん

2025全道合研 分科会の紹介

11/2(日) ハイブリッド分科会

分科会 4 @札幌大通高校
数学教育 9:00～17:00
「グローバル人材」「コミュニケーション能力」「小学校での教科化」「大学入試改革」。現場を揺るがしているこうした教育政策のキーワードをもとに、真の外国語教育の目的を確かめながら、子どもの明るい未来につながる授業づくりを語り合いましょう。

分科会 7 9:00～12:00
@北海道高等学校
教職員センター
書写・書教育
小学生の毛筆指導から高校生の作品展示まで、幅広い参加者ニーズに応える分科会を目指しています。

分科会 9 @北海道高等学校
教職員センター 9:00～12:00
技術・職業と進路指導
各教科・科目の専門性を活かし、地域と連携した多くの実践や、進路指導、労働問題などの実践を積み上げてきました。身近な問題などを中心に数多くの実践を持ち帰り、学び合いましょう。

分科会20 @札幌市教育文化会館 10:00～16:00
障害児・障害者の教育と福祉
本分科会では学齢期、青年期から高齢期まで、当事者や家族のことを含めた多岐に渡る内容について、参加者から寄せられたレポートを通して討議を行い、研究課題を深めていきます。各生活年齢や発達段階のつながりの視点を大切に、大いに語り合いましょう。

10:00～16:00
分科会24 @北海道高等学校
教職員センター
不登校・高校中退・ひきこもり
不登校の子どもは11年連続で増え続けています。生活に困窮する世帯も増えており、ますます不登校の子どもやひきこもりの青年が安心して成長できる居場所が求められます。教育行政のあり方を検討し、学校現場、親の会、支援団体のとりくみを語り合います。

11/8(土) オンライン分科会

分科会 1 9:00～16:00
国語教育
ことばを「情報」として操作するだけ。文学作品も読まない、作文も書かないー最近の流行のこんな授業は国語教育ではないーと怒っているみなさん！本当の意味で生きる糧となる国語教育を参加者みなでつくりあげてみませんか？(レポートには教材の原文添付を)

分科会 2 9:00～12:00
外国語教育
「グローバル人材」「コミュニケーション能力」「小学校での教科化」「大学入試改革」。現場を揺るがしているこうした教育政策のキーワードをもとに、真の外国語教育の目的を確かめながら、子どもの明るい未来につながる授業づくりを語り合いましょう。

分科会 3 9:00～16:00
社会科教育
本分科会は、社会科・公民科・地歴科教育実践の発表・交流の場です。人権・平和・民主主義の実現を目指し、持続可能な社会の担い手を育てるために、上記の教科・科目を中心に、多様な教育実践をもちより、共有・維持・発展につとめる機会としましょう。

分科会 5 9:00～12:00
理科・環境教育
自然科学・技術は、すべての人々に幸福をもたらすべきものです。しかし、環境問題、原発と廃棄物など現実の問題は複雑です。道民が自分の頭で考えて未来を切り開いていくためには、自然科学や環境科学の基礎を豊かに学ぶことのできる教育が必要です。

分科会 6 9:00～12:00
美術教育
美術教育は豊かな人間性を育むと共に、多様な価値観や、創造性を他者と共有し相互に認め合える教科です。学力のあり方が変わろうとしている中、授業や特別活動を通じ、子どもたちとの関わりについて語ります。

分科会 8 13:00～16:00
音楽教育
音楽は、人が豊かに生きていくために欠かすことのできない文化です。音楽の授業は、子どもと教師が教材を真ん中にして文化を育む場です。ささやかでも、普段着の実践を持ち寄り、語り、歌い、学び合いましょう。授業等で録音・録画した物を持ち寄ります。

分科会10 9:00～12:00
家庭科教育
生命と生活の再生産にかかわる学習を担う家庭科は、子どもが直面する生活の困難にどのように迫り、何を提起していくべきなのでしょう。現在と将来にわたる生活の主人公を育てるため、大いに意見交換しましょう。

11/9(日) オンライン分科会

分科会11 9:00～12:00
保健・体育教育
子どもの健康・発達を語り合い、いかに子どもの命や身体を守り育てていくのか交流しましょう。また、すべての子どもに、食・健康・運動・文化の主人公として相応しい力を保障する教育を考えましょう。学校保健の現状と実践的課題を意見交換しましょう。

9:00～12:00
分科会12
生活・総合学習
「何を学ぶか」「なぜ学ばせるか」という視点からの授業づくりが、総合学習・生活科の実践を豊かにしていく報告が近年増えています。「深い学び」を実現する生活・総合実践について語り合いましょう。

9:00～12:00
分科会13
道徳教育
特別の教科「道徳」が小学校で始まり8年目。他教科や学校行事と照らし合わせ、できるだけ子どもたちの実態に合うように意識して授業が行われている学校もあれば、計画に則り肅々と授業を進める学校もあります。子どもたちのための道徳を一緒に考えましょう。

9:00～12:00
分科会14
学校と家庭の生活指導
子どもたちの声を聞き、子どもたちを大切にする学級づくり、授業づくりなどの実践を交流します。学校を息苦しくさせるゼロトレランス、学校スタンダードなどの一斉指導、拡がる格差と貧困。いま、必要な生活指導、子ども支援は何かを討論します。

9:00～12:00
分科会15
教育条件確立の運動
ゆきとどいた教育の実現には、「人・物・予算」の裏付け、すなわち教育条件整備が不可欠です。教育予算や教育費負担、学校統廃合、教職員定数増と労働条件改善など、切実な課題について学び、語り合いましょう。

13:00～16:00
分科会16
教育課程・学校づくり
子どもを中心とした教育課程を、教職員・子ども・保護者・地域が力をあわせてつくっていくために、お互いの実践や思いを交流しましょう。また、様々な課題をかかえる子ども達の実態や育課程についても、じっくり語り合いましょう。

13:00～16:00
分科会17
地域づくりと子育て・教育・文化・スポーツ
現代社会にみる生活・学力格差、貧困・差別等の社会問題を解決することは、学校だけ、家庭の中だけでは困難です。「子どもの生きづらさ」に正面から向き合う子育て・教育・文化・スポーツと子どもが育つ地域づくり、それとともにある大人の学びを考えます。

13:00～16:00
分科会19
国民のための大学づくり
政府は「高大接続改革」「高等教育無償化」により、高校教育、大学入試、そして大学のあり方を劇的に変えようとしています。統制・競争・分断の政策を乗り越え、自由な学問と青年期の発達保障のあるべき姿を探ります。

13:00～16:00
分科会22
平和・憲法と教育
戦後80年を経過し、戦争体験・被爆体験が過去のものになる今、平和の尊さと、平和を実現するための憲法の存在意義などを如何に次世代に引き継ぐのか。積み重ねてきた理論だけでなく、新しいとりくみ・実践を交流しましょう。
※人権・民族と教育分散会は休止します。

13:00～16:00
分科会23
子ども・青年の発達と教育
子どもや青年の「発達援助」に携わる大人として、何ができるかを共に考え語り合う分科会です。保育、小中学校、高等学校、フリースクールなど、乳幼児期から青年期までの長いスパンで「人の発達」を見通し、子ども理解をより豊かなものにしていきましょう。

テーマ別交流会

第1部 16:00～17:30

2号館21番教室

教科書問題

教科書交流会も3年目となりました。小中高の教科書の問題点を出すだけではなくどう使えばよいのかはいつも頭を悩ませます。今年は現行の高校社会科教科書に視点をあてます。また、学習指導要領の改訂にデジタル教科書はどう対応するのかにも触れていきます。

5号館E22番教室

子どもの権利

～「こども条例」策定が進む中で～

日本が国連子どもの権利条約を批准してから31年目になりました。学校で、地域で、家庭で、「子どもの権利」はどう活かされているのでしょうか。身近なところから語り合いましょう。

第2部 17:30～19:00

5号館E22番教室

アイヌ民族

言葉がひらく未来—これからの私と、これからの私たちについての対話—

提言 川上 恵 さん
(STVラジオ『アイヌ語ラジオ講座』講師)
多様性を踏まえ「これからの社会をどう織り直すか」を対話で探究し、自己の連累に気づき、協働の可能性をひらく時間にします。

5号館E23番教室

しゃべり場 withダニーさん!

全体講演でお話いただくダニーさんと、もっと詳しく・広く話しませんか？ダニーさんは私たちに伝えたいことがたくさんあるので、全体講演ではしゃべり切れないはずです！講演を受けてでもよし、最近平和について気になっている疑問でもよし、たくさんダニーさんとお話ししましょう。

3号館25番教室

不登校問題

学校に行くことが出来ない子どもや親が、どのような思いを持ち、何に苦しんでいるのか、などを親の会の方々に語ってもらい、学校の外からの視点で不登校について考えます。

5号館E23番教室

たまごカフェ

学校現場で日々奮闘する青年教職員と教員志望の学生が集い、若者が、若者なりに、教育を語り合う交流会です。経験がないからこそ感じることができる違和感や疑問、日々の大変さや学校に対する率直な疑問などについて、熱く語り合いましょう

参加申込

分科会への参加には事前の申込みが必要です。
右のフォームからご登録ください。

《申込締切：10月29日（水）》

参加費：無料



レポートについて

日々の教育実践や子どもの様子などA4用紙1枚程度の簡単なレポートでも構いません。是非レポートを書いて分科会にご参加ください。

なお、レポート参加には事前のエントリーおよび原稿の提出が必要です。

《エントリー締切：10月30日（木）》

ハイブリッド分科会は10月24日（金）

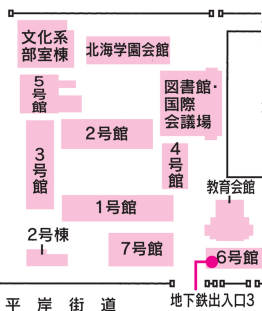
《原稿提出締切：11月4日（火）》

ハイブリッド分科会は10月28日（火）

※テーマ別交流会の詳細・分科会の研究課題、レポートの書き方の注意点につきましては、順次ホームページにてお知らせ致しますのでご覧ください。

11/1 会場案内

北海学園大学
豊平キャンパス
札幌市豊平区旭町4丁目1-40



地下鉄東豊線
「学園前」駅
3番出入口直結

※駐車場はございません。

主催：2025年合同教育研究全道集会実行委員会

事務局／TEL：011-231-0816（道高教組）

ホームページ：http://goken-hokkaido.jp/wp/

Mail：zendogoken@gmail.com

「全道合研」で検索！